

ネットワーク長野県史料協

「八ヶ岳総合博物館の活動」

茅野市八ヶ岳総合博物館 柳川 英司

■はじめに

茅野市八ヶ岳総合博物館は茅野市制30周年を記念して、昭和63（1988）年に開館しました。現在5万点を越える資料が収蔵されていますが、その基は昭和34（1959）年にちの地区有志により発足した「生活資料保存会」が収集し、ちの地区公民館に収蔵した資料が始まりです。昭和38（1963）年には生活資料を茅野市全域にわたり収集することになり、ちの地区公民館は「茅野市民俗館」となりました。その後、昭和41（1966）年に「茅野市民俗資料館」と改称しました。昭和46（1971）年には収蔵資料が多くなったことから、移転しました。収蔵保存して未来へ伝える資料は生活資料だけでなく、自然や文化も含めた総合的なものが必要と言う要望に基づき、昭和57（1982）年に総合博物館建設が計画され、昭和63（1988）年10月25日にそれまでの「茅野市民俗資料館」を統合して「茅野市八ヶ岳総合博物館」が開館しました。また、平成12（2000）年には、八ヶ岳麓文芸館も併設されました。

以来30年、地域の自然、その中の人々の暮らしと歴史、そこから育み出された産業や文化に関する資料を収集し、博物館事業を展開しています。



茅野市八ヶ岳総合博物館

■主な事業活動の紹介

資料の収集・保管、調査・研究、展示を中心に事業を行っています。収集する資料は、自然、歴史、民俗、文芸と多岐にわたっています。

当館の職員数が少ないため、特に自然系資料を収集するために、平成25（2013）年度から市民研究員が設けられました。市民研究員は、自然系6グループ、人文系1グループで活動しています。人文系は、語り伝

承グループで、古老から昔のお話を聞き、書籍にまとめています。市民研究員のほかに機織りボランティアがあり、日々、館内で機織りを行っている傍ら、月2回機織り体験の指導をし、また、随時コースター作りの対応を行っています。

古文書関係では、古文書研究会があり、館で所蔵している古文書の解説に取り組んでいます。

以前は紀要で成果を発表していましたが、刊行ができなくなったため、目録や解説したものを、インターネットで公開しています。

他に古文書解説講座と古文書相談会を開催しております。古文書解説講座は、主に初心者を対象としています。館蔵資料をテキストとして、古文書の読み方、見方などを講義し、古文書に親しんでいただければと行っています。

古文書相談会は、家にある古文書の保存方法や、字は何と読むのかといったことを助言しています。これまで、当館へ文書などの寄贈や寄託のきっかけになることがありました。

収蔵している文献資料には、図書の他、古文書を収蔵しています。茅野市民俗館時代からの資料がありますが、担当者がいなかったため、10年ほど前まで整理が行われてきませんでした。徐々にではありますが、整理を行っています。近現代の行政文書も少量ですが収蔵していることがわかりました。

■おわりに

八ヶ岳総合博物館は、まさに「総合」的な博物館です。そのため、何が中心かよくわからないと言われるかもしれません。しかし、地域と密着し、地域のためになるような博物館を心がけています。



古文書研究会

第2回講習会

「公文書館のしごと—公文書と古文書をめぐる史料保存—」参加記

10月29日（金）、長野県立歴史館で上記講習会を開催しました。感染症対策もあり、参加者を30名に限っての開催となりましたが、史料保存のあり方をめぐって考えさせられることが大きかったと思います。

前半は福島正樹氏から「長野県における公文書・地域資料の保存と修史」、後半は村石正行氏から「地域資料と県立歴史館」の講演があり、長野県における修史事業と公文書管理の問題、史料散逸の危機とその背景について知ることができました。参加された方々から参加記をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。

松本市文書館 木曾寿紀さん

笹本正治会長の総括にあった様に、終始頭が痛い思いを一同が共有した研修でした。福島正樹先生の講演では、県立文書館構想と挫折の経緯が明らかとなり、全国的に見て早い時期に「志高く」県立文書館設置要望の強い願いを信州の先達が持っていた事は驚きです。挫折したのだとしても、実現しようとしたその熱意は、将来の県立文書館開館に至る土台として、特筆されるべき事だと思います。

村石正行先生の講演で言及された様に、現地保存法則を遙かに上回る速度で、多くの古文書等が、地域から血が噴き出す様にして流出しています。複合的要因があるとはいえ、解決への道が遠い状況に、焦燥感と悔しさがあります。

研究者が少ない中信の地域では、旧家等で古文書群を保存し続けている例も見えますが、オークションサイト等に若干の文書が出始めています。講演を聞いて、流出への強迫観念を強めていますが、今はせめて地元からの流出だけでも、両手が届く限り食い止めたと思っています。

佐久市教育委員会 生島修平さん

今回の講習会では、「資料保存」と「修史事業」の関連性に着目した福島正樹氏の講演と、その修史事業に必要な「地域資料」の保全や収集における現

状と課題に触れた村石正行氏の講演が行われました。

公文書管理については、世間では現代の課題と思われるがちですが、福島氏が述べるように明治政府においても行われ、さらに遡ると文書行政が始まった古代から続くものです。明治時代の内閣制度確立までは「資料保存」と「修史事業」が一体的であったことにより、今後の現代史叙述のためには「修史事業」を念頭においた「資料保存」を進めていく必要性があると改めて感じました。また、そのために今できることは各自治体による「地域資料」の保全であるかと思っています。

当市の史料保全業務においても、今後の現代史叙述のため、そして次世代に史料を伝えていくために、長期的展望をもった業務遂行を目指していく必要があります。今回の講習会は次世代を見据えた史料保全のあり方を考える良い機会となりました。

真田宝物館 溝辺いずみさん

真田宝物館のある松代地域は、城下町ということから古い家屋や蔵が多く残されてきました。ですが、世代交代が大きく進む昨今、古い家屋や土蔵が次々に取り壊され、古文書の保全が危ぶまれる状況にあります。今回の講習を受けて、私たちが今やなくてはならないことは、資料の流出・減失を机上で嘆くことではなく、少しでも多く松代地域の人々に関わり、古文書の大切さを啓蒙する「行動」なのだと再認識しました。

私は長野県立歴史館がある千曲市在住で、歴史館主催の「ティーンズ古文書講座」の案内や地域公民館での歴史館学芸員による地域資料講座の案内などを、町内商店街の貼紙や回覧板への挟み込みで頻繁に目にし、地域に根差した活動を積極的にされる様子を地域住民の立場からも学ばせていただいています。

「学んだことを次は自分たちの守るべき松代地域で実践していきたい」そんな決意を新たにできる、大変有意義な講習会でした。

第3回文献史料保存活用講習会の開催

コロナ禍が今までの社会を大きく変えてしまったと言っても過言ではないでしょう。対面式での催しものが制限され、多くの人びとが窮屈さを感じている一方で、人と人との新しいつながり方や進み方が模索されています。令和4年1月28日（金）に行われた第3回講習会もその試みのひとつでありました。昨年度できなかった多仁照廣先生の実技講習会を是非対面で実現したい、これが会員の願いでもあったのですが、1月に入り、感染状況が悪化したために、対面式講習会を断念し、オンラインでの開催となりました。

多仁先生の講習会は「歴史資料の保存・修復・活用および切（破）断面接合技術実習」というテーマで実施されました。前半は多仁式漉き嵌めの概要の講義。多仁先生と長野県との深い関わりや、多仁式漉き嵌めがどのような背景で開発されたのか、漉き嵌めによる修復の実例など生のお話を聞くことができました。

続く美浜町文化館のyoutube動画の視聴ではネット環境の影響で音声が出ないというトラブルも発生しましたが、多仁先生のアドリブによる解説が行

われ、むしろわかりやすく理解が深まることとなりました。実技講習では、実際の漉き嵌め、切（破）面の接合の具体的な方法を学びました。メチルセルロース糊の作り方、筆の使い方、低温アイロンの利用などリアルに学ぶことができました。

オンラインで参加された皆様からは、先生のお声を直に聞けてよかったとの意見が多く、困難ななかでの講習会のあり方を検討する材料にもなったと思われる。史料保存のための新しいつながり方のきっかけになればと願うところです。



オンラインにて開催

長野県史料保存活用協議会のあゆみ（活動報告）

令和3年6月24日（木）

理事会・総会・第1回文献史料保存活用講習会

会 場：丸子文化会館セレスホール

講演会：「上田・東御・小県地域における公文書館設置運動に携わって一学んだことと課題」

講 師：長野県史料保存活用連絡協議会員

小平千文氏

巡 検：上田市公文書館、長和町文書館

（参加者 33名）

令和3年10月29日（金）

第2回文献史料保存活用講習会

会 場：長野県立歴史館第1研修室

講演会：「公文書館のしごと—公文書と古文書の保

存をめぐる史料保存—」

「長野県における公文書・地域資料の保存と修史」

講 師：信州大学大学史資料センター 福島正樹氏

「地域資料の収集と県立歴史館」

講 師：長野県立歴史館文献史料課長 村石正行氏

（参加者 28名）

令和4年1月28日（金）

第3回文献史料活用講習会オンライン開催

講 習：「歴史資料の保存・修復・活用および切（破）断面接合技術実習」

講 師：若狭路文化研究所 多仁照廣氏

（参加人数 24名）

長野県史料保存活用連絡協議会 機関会員名簿 (五十音順)

令和4年3月末現在

個人会員は除く

	会員名	郵便番号	会員住所	電話番号	FAX
1	安曇野市文書館	399-8211	安曇野市堀金烏川2753番地 1	0263-71-5123	0263-71-5127
2	阿南町教育委員会	399-1502	下伊那郡阿南町東條58-1	0260-22-2270	0260-22-2287
3	飯島町教育委員会	399-3702	上伊那郡飯島町飯島2529	0265-86-3111	0265-86-5596
4	飯田市歴史研究所	395-0803	飯田市鼎下山538	0265-53-4670	0265-21-1173
5	飯綱町教育委員会生涯学習係	389-1293	上水内郡飯綱町大字牟礼2795-1	026-253-6646	026-253-6649
6	伊那市教育委員会	396-0292	伊那市高遠町西高遠1806(高遠教育振興係内)	0265-94-2557	0265-94-3697
7	上田市公文書館	386-0413	上田市東内2564-1	0268-75-6682	0268-75-6683
8	上田市立上田図書館	386-0014	上田市材木町1-2-47	0268-22-0880	0268-28-1118
9	大町市教育委員会	398-0002	大町市大町4700 大町市文化財センター	0261-23-4760	0261-23-4773
10	小布施町文書館	381-0297	上高井郡小布施町小布施1491-2	026-214-9114	026-247-3113
11	軽井沢町追分宿郷土館	389-0115	北佐久郡軽井沢町追分1155-8	0267-45-1466	0267-45-1466
12	坂城町教育委員会文化財センター	389-0601	埴科郡坂城町坂城6362-1	0268-82-1109	0268-82-1112
13	佐久市教育委員会 文化振興課	385-0051	佐久市中込2913	0267-63-5321	0267-63-5322
14	信濃町教育委員会	389-1305	上水内郡信濃町柏原428	026-255-5923	026-255-6103
15	信州大学大学史資料センター	390-8621	松本市旭3丁目1番1号	0263-37-3531	0263-86-3532
16	須坂市文書館	382-0013	須坂市大字須坂812番地2(旧上高井郡役所内)	026-285-9041	026-285-9175
17	諏訪市博物館	392-0015	諏訪市中洲171番地2	0266-52-7080	0266-52-6990
18	東御市教育委員会	389-0592	長野県東御市県281-2	0268-75-2717	0268-64-5878
19	辰野町教育委員会	399-0493	上伊那郡辰野町中央1番地	0266-41-1681	0266-41-3379
20	公益財団法人 田中本家博物館	380-0085	須坂市穀町476	026-248-8008	026-245-4780
21	千曲市教育委員会 歴史文化財センター	387-0012	千曲市桜堂268番地1	026-261-3210	026-261-3211
22	茅野市ハヶ岳総合博物館	391-0213	茅野市豊平6983	0266-73-0300	0266-72-6119
23	中川村教育委員会	399-3802	上伊那郡中川村片桐4757	0265-88-1005	0265-88-4005
24	長野郷土史研究会	380-0834	長野市問御所町1257-1	070-4026-1252	026-224-2673
25	中野市教育委員会	383-8614	中野市三好町1-3-19生涯学習課	0269-22-2111	0269-22-5901
26	長野市公文書館	380-0928	長野市若里六丁目6番2号(若里分室)	026-224-0701	026-224-0702
27	長和町文書館	386-0701	小県郡長和町和田147-3	0268-88-0030	0268-71-6241
28	南木曾町博物館	399-5302	木曾郡南木曾町吾妻2190	0264-57-3322	0264-57-4114
29	公益財団法人 八十二文化財団	380-0936	長野市岡田178-13	026-224-0511	026-224-6452
30	松代文化施設等管理事務所	381-1231	長野市松代町松代4-1真田宝物館	026-278-2801	026-278-2847
31	松本市文書館	390-0837	長野県松本市鎌田2-8-25	0263-28-5570	0263-24-2110
32	南箕輪村教育委員会	399-4592	上伊那郡南箕輪村4840-1	0265-76-7007	0265-76-5568
33	箕輪町郷土博物館	399-4601	上伊那郡箕輪町中箕輪10286-3	0265-79-4860	0265-79-4860
34	宮田村教育委員会	399-4301	上伊那郡宮田村7021	0265-85-2314	0265-85-5583
35	(有)山本マイクロシステムセンター	381-2221	長野市川中島町御厨1963-5	026-283-5353	026-283-5354
36	長野県立歴史館	387-0007	千曲市屋代清水260-6	026-274-2000	026-274-3996

※今年度より新たに信州大学大学史資料センターが長野県史料保存活用連絡協議会に加盟していただくことになりました。
今後ともよろしくお願いいたします。

事務局より

本年度も、会の活動等に関してご協力を賜り、ありがとうございました。第2回の講習会でも話題になりましたが、史料の流出が後をたちません。何か手立てを考えていく必要があると思います。レスキューのリーフレットを作成しましたのでご活用下さい。コロナ禍の厳しい状況のなかではありますが、お互い知恵を出し合える県史料協になっていけばと思います。

なお、令和4年度総会は南信地区(6月23日(木)茅野市ハヶ岳総合博物館)で実施する予定です。よろしくお願いいたします。

皆様も既にお聞き及びと存じますが、当会副会長を長らく務め、会の発展に尽力された小松芳郎さんが2月21日ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りします。

事務局：長野県立歴史館文献史料課 〒387-0007 長野県千曲市屋代260-6

電話 026-274-3993 FAX 026-274-3996 E-mail rekishikan-bunken@pref.nagano.lg.jp